

猛暑の中、ご挨拶ありがとうございました。



止めましょー！
デロも選挙も！
日本共産党北区国会議員
さがらとしこ
区政レポート

日本共産党議員団

2022.7.16.No.1879.
御相談はお気軽に
TEL FAX とも 3905-0970
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ近く)



7月4日(木)夜7時頃
私、さがら議員は4回目の
ワクチン接種をいたしました。
今回も北医療センター、モデルナと。
3回目のような発熱はありませんでした。

東京都即応支援チームの氷遣い
(4) 陽性者の発生時には、相談受付から24h以内

新型コロナ7波みえ 北区の対策について(要旨)

●北区も、急激な感染拡大に直面しています。●7月15日(金)には、北区新型コロナ対策特別委員会が開かれ、これまでの対策に加え、北区医師会と連携した医療支援の体制を強化するなど、より一層の対策を強めてゆく方針が示されました。

(1) 4回目のワクチン^{入所施設} 早期接種の促進です。

●高齢者施設入所者の方が、可能な限り早期により多くの希望する方が受けられるよう、施設の状態に応じた体制を確保する。

(2) 従事者の頻回・定期検査 PCRの週1回検査に加え、1週間に1回以上の抗原定性検査を要請する。

(3) 北区医師会医療 支援チームの診療

濃厚接触となった入所者に対する中和抗体薬投与など、往診やオンラインでの診療を行う。(原則)

暮らし、平和、希望の日本と一緒に。山添拓也

11日に東京都新宿区で行われた日本共産党の参院選結果報告の宣伝で、東京選挙区から2期目の当選を果たした山添拓也氏の発言を紹介いたします。

東京・新宿区から

ご支持を頂き、応援を頂いた皆さんに心から感謝します。

参院選挙で多くの方と出会いました。街頭宣伝、選挙事務所のボランティア、勝手連の皆さんとの宣伝にも、多くの方に来ていただきました。若い世代は政治に関心がないなどといわれます。けれど多くの方が、世の中もう少しこうなればいいと日々思っている、それをぶつけて政治を動かしたい、そういう思いをお持ちだと感じ続けた選挙戦でした。

声をあげ、ともに政治を変えようと一歩踏み出した多くの方とともにつかんだ、大事な大事な議席です。改めて感謝します。

テレビやインターネットの国会質問動画を見て日本共産党や私を発見していただき、政治に関心を持つようになつた、と言っていたたくさんの方とも大変多く出会いました。国会中継はご覧になると結構面白



2022年7月12日
Chûbin 赤旗より

参院選の結果を報告する山添拓也参院議員＝11日、東京・新宿駅西口

声をあげ、ともに政治を変える

●あなたの声を国会に届ける

いと思うんですね。大臣はまともな答弁に立たない、答弁したらちょっと何言ってるかわかんない、こういう場面もたくさんあったと思います。私たちは、事実と道理に基づいて現場の実態や当事者の声

をぶつける。それに対して、いかに政治が不誠実か、正面から向き合っていないか、それを論戦で明らかにしたい。同時に、国会質問を通じて政治を一步でも前に進めたい。こういう思いで国会に臨んで

います。この仕事を引き続き担わせていただけることを大変うれしく思います。
戦争しないと誓った憲法9条に、自衛隊を書き込むと自民党はいいます。しかしその自衛隊は災害救助や専守防衛の自衛隊ではありません。敵基地攻撃能力で先制攻撃する、集団的自衛権でアメリカとともに戦争する、攻撃をする自衛隊です。戦争する自衛隊を憲法に書き込み、日本を戦争する国に変えていくくらいを許してはいけません。憲法9条を私たちが変えてしまったら、とりわけアジアの国々に対してどんなメッセージになるでしょうか。戦争しない誓いをやめてしまう、そういう印象を与えることになるのではないのでしょうか。そんな選択をしてはならないと私は考えます。
憲法が希望と掲げてきました。暮らしに平和に憲法を徹底的にいかすために、私山添拓と日本共産党は、全力で多くの方と力を合わせる決意です。
あなたの声を国会に届け、論戦を通じて政治を動かす。希望ある日本を一緒に切り開くために、全力をあげます。

日本の男女格差116位

労働参加下落 主要7カ国で最下位

2022.7.14. 村 赤旗 社

ことし5月、政府がようやく男女別賃金の公表の企業の義務づけに踏み切ることを公表しました。

スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」(WEF)は13日、世界の男女格差の状況をまとめた2022年版の「ジェンダーギャップ報告書」を公表しました。146カ国を対象に、各国の教育・健康・経済参画・政治参画の4分野での男女平等の達成率(ジェンダーギャップ指数)を調べたとこ

ろ、日本は65.0%で、前年の65.6%から後退し、順位も下位の116位。主要7カ国では最下位でした。日本が後退した要因として、WEFは報告書で、経済参画の達成率が前年の60.4%(117位)から56.4%(121位)に、2016年と同じレベルに下落したことを指摘。新型コロナ禍に伴う休業や倒産、解雇が急増するなか、女性労働者の減少が男性よりも大きかったため、労働参加の達成率が84%から75%に大きく落ち込み、同一労働における賃金格差の是正も65.1%から64.2%に低下したことが響いています。また、国会議員や閣僚の男女比など政治参画も、日本の達成率は前年と同じ61.0%で、世界平均の62%を大きく下回ったままです。一方、世界全体の達成率は68.1%で、前年の67.9%からわずかに前進。トップは、13年連続でアイスランド(90.8%)でした。主要7カ国では、ドイツ10位、フランス15位、英国22位、カナダ25位、米国27位、イタリア63位で、日本の立ち遅れが際立っています。

政党助成金のゆくえ 時事通信より

22年の試算

参政党も交付へ

参院選の結果を踏まえ、時事通信は13日、各党に支給される2022年の政党交付金額を試算しました。政党要件を満たした参政党が7700万円の交付を受けると見込んでいます。日本維新の会は議席増などにより、4月の交付決定額に比べ4.7倍増の31億7000万円。国民民主党は、13.6%減の15億3200万円となります。政党要件を満たした社民党は2.8%減の2億7100万円。民主党67億9200万円(0.1%増)、公明党29億4000万円(2.0%増)、れいわ新選組4億9800万円(20.8%増)、NHK党2億2000万円(24.3%増)

政党助成金 維新に31.7億円

00万円となります。政党要件を満たした社民党は2.8%減の2億7100万円。民主党67億9200万円(0.1%増)、公明党29億4000万円(2.0%増)、れいわ新選組4億9800万円(20.8%増)、NHK党2億2000万円(24.3%増) 日本共産党は、政党支持の有無にかかわらず国民の税金を1分ける政党助成金は、憲法が保障する思想・信条の自由を違反する制度だとして一貫して廃止を求め、受け取りを拒否していません。

改憲「不急」58.4%

参院選の結果を受けた各社の世論調査(いずれも11、12日実施)で、自民党などが掲げる「憲法改正の早期実現」について、国民が優先課題と捉えていないことが明らかにされました。共同通信社の調査では、参院選で何を最も重視したかの質問で「物価高対策・経済政策」との回答が42.6%と最多。次いで「年金・医療・介護」が12.3%、「子育て・少子化対策」が10.4%と続き、「憲法改正」は5.6%にとどまりました。

参院選受け世論調査

また、改憲に前向きな「改憲勢力」が3分の2以上の議席を獲得した結果を受け、「憲法改正を急ぐべきか」との問いには、「急ぎました」が37.5%だったのに対して「急ぐ必要はない」が58.4%と上回りました。「憲法」の調査でも、今「年金など社会保障」は73%と暮らしの問題に回答が集中しました。「憲法改正」は37%と全項目のうち最低

見える前進へ力合わせ

倉林明子党ジェンダー平等委員長が談話



昨年のジェンダーギャップ指数は、日本は156カ国中120位でした。今年も順位は大きく変わらず、達成率では後退という残念な結果です。日本政府が、男女賃金格差の縮小や、選択的夫婦別姓への法改正など、国連からの是正勧告にもまともにとりあわず、無視し続けてきたことに要因があります。日本共産党は、国民の世論と結んで国会質問でも繰返し、ジェンダー平等を求める声と運動は日本でもますます大きくなっており、ここに希望があります。目に見える前進を勝ち取るために力を合わせましょう。

2022.7.16 さがらポータル No.1879

